



晴天の心

立教187年11月号
大阪府富田林市寿町4-9-10
URL:www.tomiishi.net

TEL:0721-23-3466 090-5243-4669



月次祭 11月19日(火) 午前10時～
婦人会例会 11月9日(土) 午前10時～



今年ももうあと2ヶ月。

年賀状の受付・販売が始まりましたね。

秋がどんどん短くなっているように思いませんか？10月下旬でも29度の夏日だったりしていましたから、秋らしい気候はほんのわずかな期間しかないように思います。

11月3日4日には、全国各地で第3回ようぼく一斉活動日が開催されます。詳しい会場については、このページの左上のQRコードでお住まいの地域を選択すると、最寄りの会場がわかりますので、是非ご参加ください。

南河内支部3組の会場は、11月4日午後1時から錦分教会を会場として開催します。

今回は講師講話、テーマは「ひとたすけたら わがみたすかる」

講師は私が行います。参加お供えは500円。どうぞ誘い合ってご参加ください。

場所がわからない場合は、ご連絡ください。一緒に行きましょう。

難しい話は、ようしませんので、できるだけわかりやすい内容でお話しいたします。



先月より始めた Youtube 動画配信ですが、ある一定の方が継続してみておられることがわかりうれしいですね。@富石分教会は教理を中心にした内容。今人気なのは、教祖60年祭から110年祭までの年祭の歴史を放送されたものをまとめた動画。

初めての60年祭は無声の記録だったのが70年祭以降はきちんと声も入ってしかも素晴らしいアナウンサーが解説していたりします、今の名阪国道や西名阪高速が年祭のために造られたことは今では忘れられた事実です。鉄道中心の帰参から車や飛行機と交通手段の変遷も興味深いものです。おちば周辺の様子も映し出されていますが、変わりのないところ変わってしまったところがあり、記録というものの大切さを感じます。

毎日1本公開するようにしています(いまのところ・・・)

やはりラジオで流された講話はしっかり内容が整理されていて心に響き収まりますね。

やり始めて良かったと思います。

今日の
おやのことば

「実ののる花」

花という花も綺麗な花でも
稔らぬ花もある、実ののる花もある。



おさしづ 明治24年1月25日

朝の空気がおいしく感じられる季節になってきました。
冷気で曇ったドアミラーを拭いて車に乗り込むと、高校生の息子が「この季節が一番好きなんだ」とつぶやいています。
あまり物事を深く考えるタイプには見えないのですが、静かに読書や物思いにふける時間が増えるいまの時期が、一年中で一番落ち着くそうです。確かに、今年のような猛暑が続くと、ゆっくり何かを考える余裕はありません。

窓の外を流れる景色を目で追いながら、息子はいったい何を考えているのか。そろそろ、将来のことなども考え始めているのだろうか——。私自身が同じ年代であったころのことを思うと、彼のほうがずっと物事をしっかり考えているような気がします。

「花という花も綺麗な花でも稔らぬ花もある、
実ののる花もある」



たとえどのような道を歩むことになったとしても、”うまく生きる”ことよりは”より良く生きる”ことを目指してほしい。うまく生きることばかりを考えると、計画通りに

いかないことは、すべて挫折となってしまふからです。

一方で、良く生きることができているか否かを判断するのは、いつも自分自身です。

見た目の「綺麗な花」よりは、「実ののる花」を咲かせてほしい——。そんなことを考えながら助手席に目をやると、本人はすっかり寝入っています。どうやら物思いにふけていたのは、私のほうだったようです。(岡)

おさしづ 明治二十四年一月二十五日 清水与之助身上咳の願

さあ／＼尋ねる／＼処心得ん。尋ねるがよい。どういう事、こいう事、何がどうとも言わん。尋ねる心を受け取る。これから尋ねる心を受け取る。身の心得ん／＼、どういふ事である。世上々々世上迫り切る。世上が迫ってある。どういふものである。何処から何処まで、万事心得。どういふ事も迫り切る。信者々々、どういふ事である。善き事の理も掛かり、どんな理も掛かり、心にどんな理、心掛かり掛かる。どんな事も聞く、どんな事も見る／＼。先々こいう話あつたと伝え置く。難しい事、ようこそ一つの理の為す事、天より一つに中多くの中、信者々々理を以て寄る、話説き聞かし、よう一つの道が分かる。

日々に迫る。日々に事情ある。身上一つの理があつて多くの中通る。多く通り難くい。深き心と思う。怪しいこれかと思ふが真実。真実々々みたやうで怪しいもの。

花という花も綺麗な花でも稔らぬ花もある、實ののる花もある。

元一つの理が有つて、今に一つの理が無い。

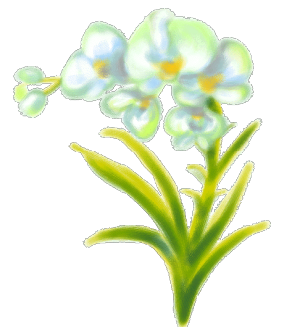
真実という理が無くば、どんな事聞いても分からん。

どんな事聞いても不足持つてくれんよう。日々どんな事聞いても、この道より無きという。案じ無きよう。しいかり諭し置く。

教祖伝逸話編 198.どんな花でもな

ある時、清水与之助、梅谷四郎兵衛、平野トラの三名が、教祖の御前に集まって、各自の講社が思ふやうにいかぬことを語り合つていると、教祖は、

「どんな花でもな、咲く年もあれば、咲かぬ年もあるで。一年咲かんでも、又、年が変われば咲くで。」と、お聞かせ下されて、お慰め下された、という。



「残したい花について」 作詞作曲 さだまさし

何を残そうかな 今日生きた記念に 下手だけど精一杯 頑張ったんだから
悔しかったことや 傷ついたことや そんなものは残さない 忘れることにしよう
明日は明日の 私が生まれ 今日とは違う 私を生きる
良いことだけ残そう 嫌なことは置いていこう 下手だけど精一杯 生きているんだから

明日の記憶が あれば良いのにね 準備なんかもゆっくり 出来るんだけどね
でも明日の記憶は ない方が良くね がっかりすることは 知らないほうが良い
明日は明日の 私が待ってる 今日とは違う 私が待ってる
明日の希望は ときめきだけでいい 大好きなあなたの 笑顔があれば良い

何を歌おうかな 人生の記念に 下手だけど精一杯 頑張ったんだから
楽しい歌や 切ない歌を 舞台中に広げて 抱きしめたいから
明日は明日の 私が笑い 今日とは違う 私が歌う
何を歌おうかな 今日生きた記念に あなたの笑顔を 忘れないように

何を歌おうかな 人生の記念に 大切なあなたを 忘れないように



ほこてんりとは？

天理市役所北側道路沿いの銀杏のトンネル、通称「親里大路のイチョウ並木」は、紅葉の時期になると市内や県外からたくさんの人たちが訪れる関西で人気のビュースポットです。ほこてんりは、「親里大路のイチョウ並木」の並ぶ国道25号線を歩行者天国にして、その空間を思う存分に楽しんでもらうイベントで、今年で開催3年目になります。

期間中は、お子様連れのご家族や友達、カップルはもちろん、お1人様や流行りのコスプレイヤー様にも楽しんでいただけます。

是非、ご来場していただき、天理のイチョウ並木が作る黄金のトンネルの幻想的な空間をお楽しみください。

期間：2024年11月16日(土) - 17日(日)
時間：10時00分～19時45分 ※両日とも
ライトアップ：18時～19時45分まで
パレード：17日(日)13時スタート

参加予定団体

- ・天理大学マーチングバンド Leon
- ・セミージャ親里
- ・大阪教区鼓笛隊

(管内鼓笛隊より選抜されたメンバーでの合同隊です)

場所：親里大路 (奈良県天理市川原城町)

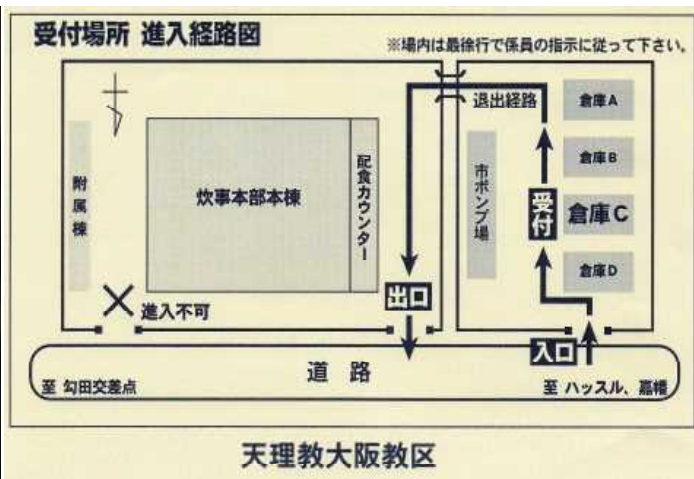
料金：入場無料 ※どなたでも入場可能

雨天：少雨決行 ※雨天時は音楽行事中止

備考：中止の際は当サイト及び公式 Instagram でお知らせします <https://hokotenri.net/>



..... ライトアップ箇所



秋の献米 教会で集めて持って行きます。直接持って行かれる場合は、支部名「南河内」教会名「富石分教会」内容「白米」・「玄米」何 kg もしくは現金金額を明記して上の地図の場所にお持ち込みください。

<<一言はなし>>

先月東京へ新幹線で行きました。久しぶり2年ぶりになります。

東京駅から JR を乗り継いで目的地へ行くのですが、最近都心の雑踏を歩くことがないので一番驚いたのは、ほぼすべてと言ってほどの人が、スマホの画面を見ながら、ワイヤレスヘッドホンをつけて歩いている姿でした。



前を見ているのか？見えているのか？慣れない場所を移動しているものにとっては、怖い怖い。おそらく通勤などで歩きなれているところなのかもしれませんが、それを見て、「見ざる言わざる聞かざる」の大集団になってしまっている。

我さえ良ければ、今さえ良ければ、他人のことは見て見ぬ聞きもしない、拒絶している姿に見えるのですが、リアルに出会い深く関わるのはいやだけど、同調してもらえない見知らぬ人たちとは繋がっていたいから SNS を見ている。そして、SNS でさえ、見ているだけで自分から発信は基本しない。どうもそんなような時代になってしまっているように感じた。

1ヶ月動画を2カ所に投稿し続けて、一つのチャンネルはチャンネル登録者が1000人を超えた。チャンネル登録をすると言うことは、新しいものが投稿され公開すると連絡が届く。1ヶ月で3万回以上も再生されている動画では、コメントも書かれているが、きちんとした感想が多いけれど、あまりよくわからないものもある。再生対数に比べるとごくわずかな人しかコメントやいいねなどの反応は返していないことから、自分からアクティブに行動をとらなくなってきた姿が垣間見てとれる。

先日、ラジオ番組を聞いていると、メールやファクシミリ、xでの投稿を受け付けていた。まあ最近のマスメディアは、ほぼこれである。たまたま、娘も同じ場所で同じように聞いていて、パーソナリティが同年代だったこともあり、Mailを投稿したら、その内容がおいしい！と取り上げられ放送で読まれた。生で読まれたのを聞くと盛り上がるねえ。興奮しながら再投稿していました。放送を通してではあるけど言葉のキャッチボールが行われるとよし来週も聞くぞとなるんです。たとえxへの投稿で読まれなかったとしても、他のリスナーなどからアクションがすぐにあるのもうれしいんですね。本当は誰もが自分と繋がってほしいのでしょう。何らかの言葉のやりとりやアクションを求めているのでしょう。



先月末、富田林駅前で神名流しを行っている時、年配の方にリーフレットとポケットティッシュを渡したところ、昔修養科に行ってお話を9回聞いて教会にも行ってたんだよ、また行ってみようかと話をしてくれた。ただそのちょっとした会話が、うれしいものなんです。ちょっとしたことで、こころに花が咲くのです。どうぞ、うつむいてスマホ見て歩くのではなく、胸を張って前を見て格好良く歩いて行きましょう。道具に使われぬように、道具は使うものですから。